

## 平成27年度「ちゅーピー東広島大学」報告

コーディネーター 井上 宣邦

広島大学マスターズでは平成27年度のちゅーピーカルチャーセンター東広島大学の講座に講師として11名の会員を派遣し、日頃から関心のあるテーマや話題を取り上げてわかりやすく紹介しました。

会場:ちゅーピーカルチャーセンター西条教室

時間:10:00～11:30

各講座の概要は下記の通りです。

(平成27年4月11日(土))「ドレミの科学」(小方 厚)

絵画はどんな色でも使えるのに、音楽は決められた音しか使えない。つまり、音楽では連続した音の中から特定の音を選び出して、ドレミ・・・として使っている。なぜだろう? そんな疑問への答えを探しながら、ドレミを科学的に考察。

(平成27年5月16日(土))「集団と個人の影響力」(黒川正流)

『周囲の人々の判断と私の判断』;集団と個人の関係において「集団の圧力が判断のゆがみに及ぼす効果」に関する古典的実験と「権威に服するときと不服従のとき」に関する古典的実験を紹介し、社会的影響力についての考察。

(平成27年6月13日(土))「磁場の科学～磁場の不思議な科学～」(谷本能文)

紀元前十数世紀の中国で天然の磁石が発見されたといわれ、以来、ひとと磁石の間にはながい歴史があります。ひとと磁石との関わり方の歴史・芸術の中に見られる磁石の一端に触れると共に、水やカエルの磁気浮上・リニアモーターカーなど磁場にかかわる最新の話を含めての考察。

(平成27年7月11日(土))「宇宙には始まりがあった～素粒子・ビッグバン～」(松田正典)

1980年代後半、「ビッグバン宇宙」の証拠が次々と明らかになり、現在の宇宙の年齢は138億年であることがつきとめられ、人類の世界観や生命観を根底からかえる大発見となりました。これにはわが国の科学者の多大な貢献があり、それを紹介。

(平成27年8月8日(土))「暮らしの中の香り」(平田敏文)

「香りのルーツを訪ねて:古代エジプトの香り」、「万葉集に詠われた香り」、「香りの芸術:香水」、「香りによる生き物のコミュニケーション」、「アロマセラピー」などを通して、“香り”を歴史・文学・科学・生物学・生理学からの考察。

(平成27年9月12日(土))「身近な繊維のはなし」(高田忠彦)

我々の身近には多くの繊維が使われています。衣料用繊維がもっとも身近であるが、家庭にも

カーテン、カーペットに繊維は使われているし、医療、自動車、航空機、土木・建築にも多くの繊維が使われています。本講座においては産業用途を中心に紹介。

(平成27年10月10日(土))「健康づくりとウォーキング～理論と実際～」(渡部和彦)

運動生理学、スポーツバイオメカニクスを基礎としたウォーキング・体操を指導。中高齢者の体力に応じた運動の仕方を指導。

(平成27年11月14日(土))「人間関係へのパワーアップ」(岩村 聡)

「(自分も人も)一人ひとりを大切にする。」そのような関係・集団の中で、人は、自分らしく居心地良くすごし、個性が生かされ、自分を伸ばせます。大事なのは「関心を向けること」、「需要・傾聴」、「肯定」、「自己開示」などです。その他、カウンセラーとしての経験や考えの報告。

(平成28年1月16日(土))「暮らしを支える“土”」(河野憲治)

日頃の生活ではあまり意識されない“土”ですが、“土”は作物を育てるばかりでなく、水や空気を浄化したり有害物質を分解したりして私達の生活を支えています。あまり知られていない“土”の働き、役割について分り易く紹介。

(平成28年2月13日(土))「生態系の成り立ちと未来」(池上晋)

いまからおよそ6億年前の古生代のカンブリア紀に、海の中で出現した多様な生物が生態系を形成する仕組みを概説します。陸上では、豊かな生態系が現在、人間生活によって急速に失われつつあります。健全な生態系を維持するために必要な要素についての考察。

(平成28年3月12日(土))「ヒトの一生:遺伝と環境」(角谷哲司)

ヒトの一生は、1個の卵子に1個の精子が受精したところから始まり、遺伝要因と環境要因の影響を受けつつ分化、発育、成長、成熟して行き、やがてはその一生を終えてゆく。本講座ではヒトの一生を臨床遺伝学的に発生から再期までを取り上げての解説。